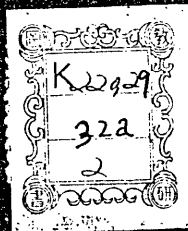
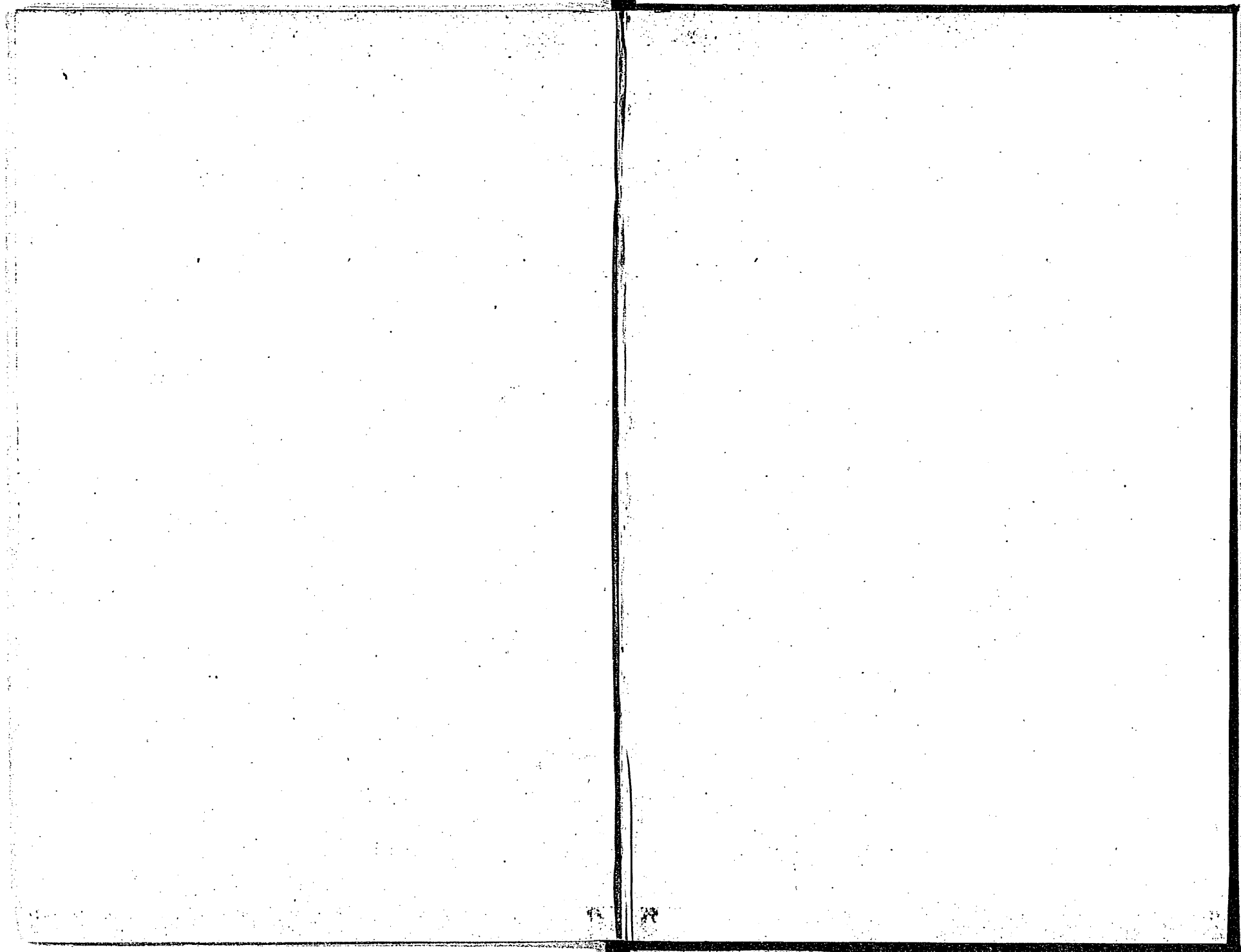


K220.29

32a

2





地理教授研究會編纂 外國の部

新日本中等地理 中



東京

合資會社 吉川弘文館發行

明治 47 0 14 内交

新日本中等地理目次 外國の部中

ヨーロッパ

總説

地勢

海岸線

氣候

人文

地方誌

大西洋諸國

イギリス

フランス

ベルギー

オランダ

バルト海諸國

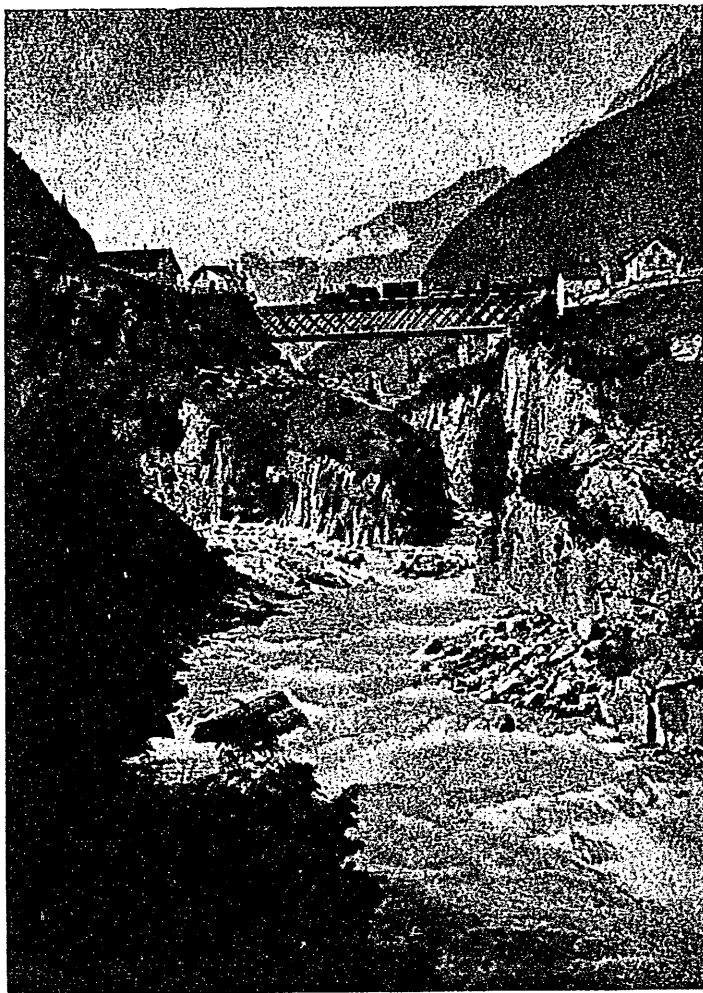
目次

一
一
一
四
五
六
〇
〇
〇
七
三
三
四
六

ドイツ	二七
デンマーク	三二
スウェーデン	三四
ノルウェー	三五
ロシア	三六
中部諸邦	四二
オーストリア・ハンガリア	四三
スイス	四六
半島諸國	四八
イタリア	四八
バルカン諸邦	五一
イスパニア及びポルトガル	五五
本洲諸國と我國	五七
アフリカ洲	五九
總説	五九

新日本中等地理目次 外國の部中終

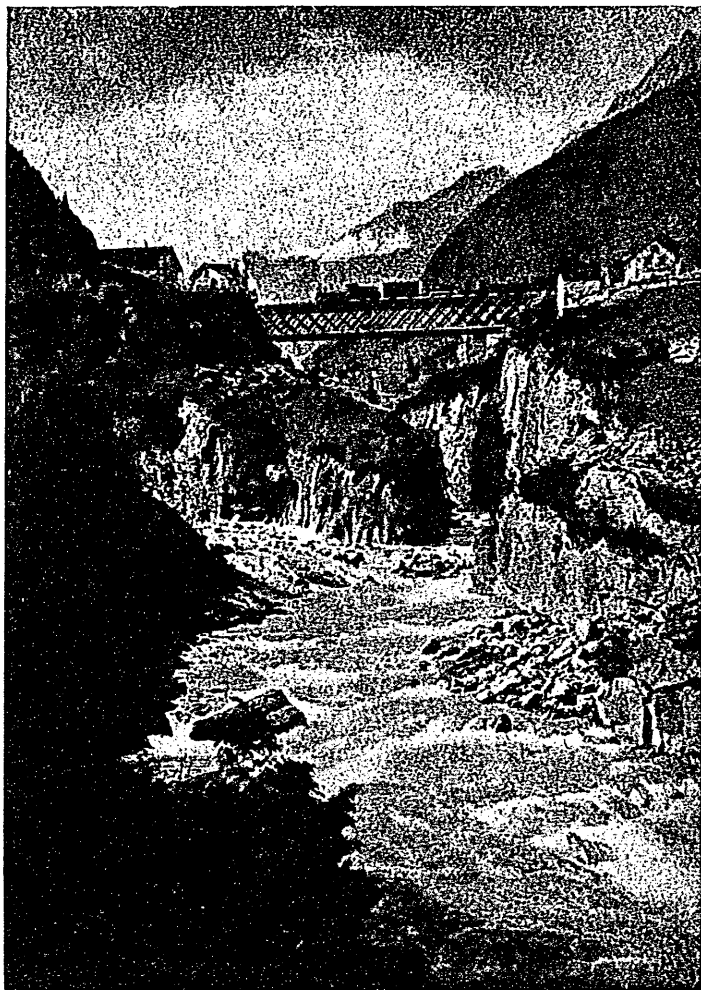
地勢	五九
海岸線	六〇
氣候生物	六一
地方誌	六二
地中海岸諸邦	六二
エジプト	六三
バルバリー諸邦	六四
中部アフリカ	六五
英領南アフリカ	六八
本大陸と我が國	六九
海洋面のヨーロッパ・アフリカ	七〇
大太平洋面	七〇
地中海面	七三



部一の道鐵ドルタゴンサ

東京丸の内田中町三丁目三番所製

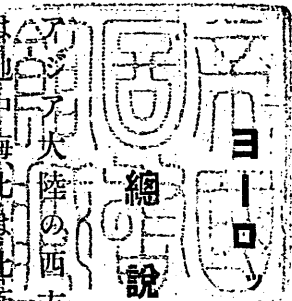
THE UNIVERSITY OF CHICAGO



東京丸の内田中實業社製

部一の道鐵ドルタゴンサ

新日本中等地理 外國の部中卷



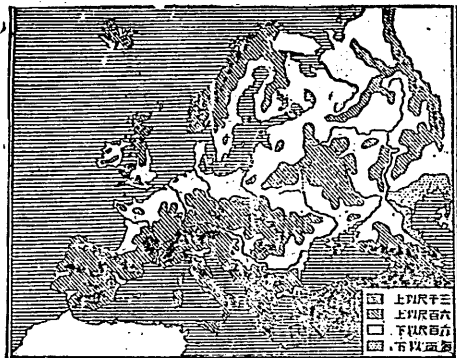
ハ洲 EUROPE

アジア大陸の西方に突出せる一大半島にて、西は大西洋、南は地中海、北は北極洋なり。廣さ清國より狭く、約六十四萬方里あり。温帶中に位し、各大陸中文化最も進歩す。

地勢 平原の大陸にて、中央以北は一大平原を成し、山地は南部に多し、地形自二大部に分る。

一、南部(一)アルプ山脈は本洲中の最も高峻なるものにて、略中央にあり諸山脈多くこれより出づ。東部には南にテ

第一圖
ヨーロッパ
の地勢



ナルアルプ、北にカルパチア山脈連亘す。又カルパチア山脈はバルカン山脈と成り、チナルアルプはピンドス山脈と成りて、共にアジア西部の山脈に連續す。⁽¹⁾ アルプの西部よりアペニン山脈出でてイタリヤ半島の主軸を成し、延びてシチリヤよりアフリカ北岸に入り、更にイベリア半島の南部に現はる。⁽²⁾ その他イベリア半島にはピレニイ山脈、アルプの西にユラ山脈あり。ピレニイ山脈は高峻を以て聞ゆ。⁽³⁾

(二) 南部第一の大河をドナウとす。カルパチア山脈を横斷し黒海に注ぐ、沿岸にはハンガリア・ロマーニアの兩平原あり。

Labels on map: SCANDINAVIA, RUSSIA, GERMANY, FRANCE, ITALY, SPAIN, PORTUGAL, GREECE, TURKEY, ROMANIA, BULGARIA, SERBIA, CROATIA, SLOVENIA, HUNGARY, POLAND, CZECH REPUBLIC, SLOVAKIA, AUSTRIA, SWITZERLAND, LIECHTENSTEIN, ITALY, SPAIN, PORTUGAL, GREECE, TURKEY, ROMANIA, BULGARIA, SERBIA, CROATIA, SLOVENIA, HUNGARY, POLAND, CZECH REPUBLIC, SLOVAKIA, AUSTRIA, SWITZERLAND, LIECHTENSTEIN.

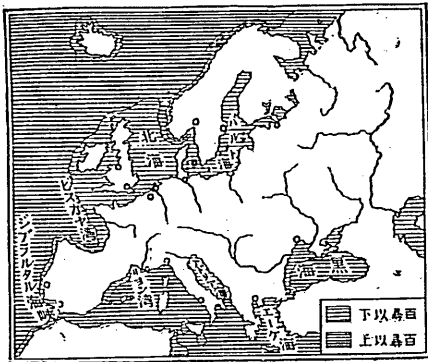
アルプ山脈の南にはポー河、西にはローヌ河あり。ポー河の平原をロンバルディアとす。その他ピレニイ山脈の南にエプロ河あり。

(一) アジアの境にウラル山脈、スカンデナヴィアに同名の山脈あるに過ぎず。⁽¹⁾ (二) その他は凡て一大平原を成す。この大平原はウスチユラ河によりて又東西二大部に分る。⁽²⁾ 東部はロシア平原にて、殆ど本洲の半を占む。本洲第一の長流ボルガを初め、ドンドニエブル等の大河多し。⁽³⁾ 西部平原はドイツ・フランス等の諸國に亘り、エルベ・ライン・セーヌ等の諸大河あり。ラインは最も重要な水路を成し、中央ヨーロッパの動脈たり。⁽⁴⁾ 湖沼はロシア平原の北西部、スカンデナヴィア半島等に最も多く、アルプ山中にあるものは風景の秀麗なるを以て殊に名あり。

Labels on map: SCANDINAVIA, RUSSIA, GERMANY, FRANCE, ITALY, SPAIN, PORTUGAL, GREECE, TURKEY, ROMANIA, BULGARIA, SERBIA, CROATIA, SLOVENIA, HUNGARY, POLAND, CZECH REPUBLIC, SLOVAKIA, AUSTRIA, SWITZERLAND, LIECHTENSTEIN.

海岸線 三面海を以て圍み、各地とも出入に富めること
各大陸中第一なり。(一)地中海岸にはバルカン・イタリア・イ

ベリアの三大半島突出す。深海多く
鹽分濃し。(4)バルカン半島の東はエ
ーゲ海にて島多く、群島海の名あり。
モラ海は東はボスポロス、西はマル
ダネル海峡にて兩海に通ず。兩海峡
とも頗る重要なり。黒海にはクリム
半島あり、半島の東をアゾフ海とす。
イタリア半島の東はアドリア海に
て、西にシチリ・サルデニア・コルシカ
の三大島あり。三大島と
半島との間をチレニアン海とす。(5)イベリア半島は大西洋



第二圖
の歐洲近海
の深淺

と地中海との間に突出し、リヨン灣とビスカヤ灣とはその
頸部を扼す。半島の南端は地中海の咽喉たるジブラルタル
海峡にて、潮流早し。

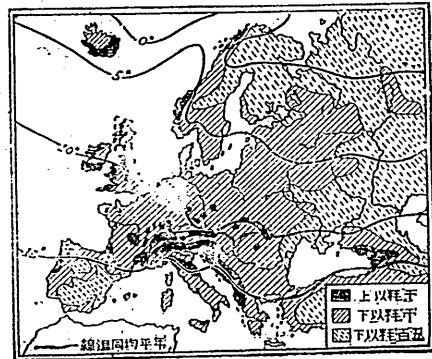
(二)大西洋 ビスカヤ灣以北は一般に海淺く、良港は多く河
口にあり。大ブリテンは本洲中の最大島にして、大陸との
間にイギリス海峡あり、その北を北海とす。北海の東部に
はユトランド・スカンディナヴィアの二大半島南北より突出す。
兩半島の東はバルト海にて、水淺く鹽分淡し。スカンディナ
ヴィアの西岸は峽灣を成し、漁業に名あり、半島の西、遙かの洋
中にある火山島をイスランドとす。(三)北極洋沿岸には白
海及びノバヤゼムリ島あり、約半歳氷結す。

氣候 西岸一帯の地は暖流に洗はるるを以て、本洲の氣
候は南北よりも却て東西に變化す。(4)大西洋岸一帯は暖流

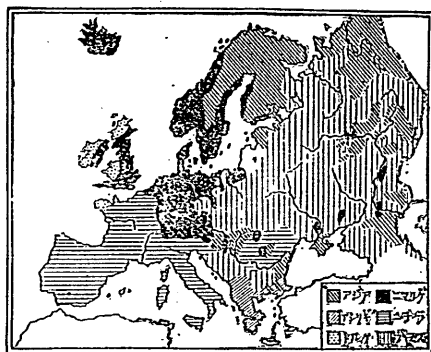
第三圖
歐洲の氣候

の影響により、寒帶内にも海岸氷結の患なき所あり。一般に南西風多く、温暖濕潤にて雨量少なからず。^(a)アルプ以南は屢アフリカより熱風襲來し、高温にて雨量多し。^(b)東部は大陸性にて、内地に進むに従ひ雨量少く、寒暑烈し。されど本洲の地は一般に温暖にて、我が千島諸島と同緯度の地にも尙ほ穀倉の稱あり。大麥の如きは極圈内にても尙ほ播種に適す。

人文 本洲諸國民は概ね自然界を利用すること、巧妙にして、文化の程度他大洲の上にあり。就中英佛獨等世界の強大國茲に集ひ、その勢威世界各國に及ぶ。

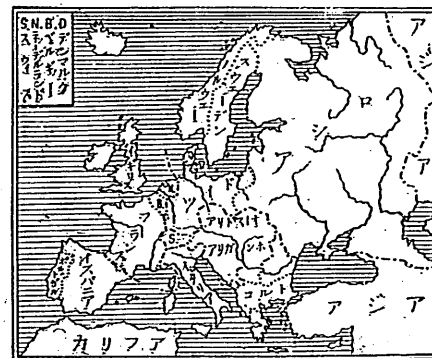


第四圖
歐洲の
種族分布



(一) 住民・宗教 多くはヨーロッパ系統に屬し、概ね基督教を奉ず。就中ラチニ・スラブ・ゲルマニの三種族最も強勢なり。⁽¹⁾ゲルマニは本洲中部スカンデナヴィア・大ブリテン等を占め、イギリス・ドイツ等の住民之に屬し、概ね新教徒たり。⁽²⁾ラチニは本洲の中部以西に住し、フランス人、イタリア人等に分る。舊教最も廣く行はる。⁽³⁾スラブは中央以東を領し、ロシア人最も多し、ギリシヤ教盛行はる。⁽⁴⁾その他アジア系統に屬するものあり、北部地方及びドナウ河域の一部、バルカン半島等に住す。トルコ人・ボンガリ人等これに屬す。トルコ人は回教を奉ず。

第五圖
歐洲の邦制



(二) 政治 大小國を建つるもの二十餘あり。トルコの外何れも立憲政體にて英・獨・伊・露等は君主國、フランス・スウェーデンは共和國なり。諸國中英・獨・佛・伊・露等最も強勢にて、昔時強大なりしオランダ・ポルトガルと共に本洲以外に廣大なる殖民地を有す。イギリスは我が同盟國にて、バルカン諸邦(ギリシヤは條約國)の外は何れも我が條約國たり。

イ、大西洋諸國

イギリス フランス
ベルギー オランダ

ロ、バルト海諸國

ドイツ ロシア スウェーデン
ノルウェー デンマーク

ハ、中部諸國

オーストリア・ハンガリア
スウェーデン

ニ、南部半島諸國

イスパニア ポルトガル
イタリア トルコ ギリシア等

その他ルクセンブルグ大公國・アンドラ共和

LUXEMBURG, ANDORRA.

和國・モナコ 侯國・リヒテンシュタイン 侯國・サンマリノ 共和國等の小獨立國存す。
MONACO, LICHTENSTEIN, SANMARINO.

地方誌

大西洋諸國

イギリス ENGLAND

大ブリテン及びアイルランド島より成り、大ブリテン・アイルランド合衆王國と稱す。面積人口ともに我が國より稍、少きも殖民地を合する時は全ヨーロッパの二倍半に達す。

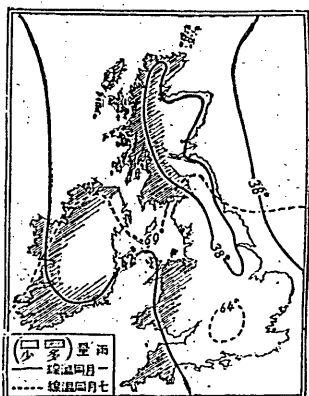
地勢 大ブリテンは地形上略三部に分る。⁽¹⁾ イングランドは全島の大部を占め、平原多く河流に富む。テムズ・ハンバー・タインの三河は東流し、セバーン河は西流す、流れ緩に、河岸には良港あり、水利頗る大なり。⁽²⁾ ウェールズは半島形

をなして海中に突出し、高地多し。⁽³⁾ スコットランドは國中概ね山地にて、細長き湖水多く、風景に富む。アイルランドは盆地狀を成し、平地多し。 Shannon 河最も大なり。

海岸線 兩島とも西岸は出入に富み、スコットランドの北部は峽灣を成し、運河を通す。一般に河口は開けて喇叭狀をなし、潮流は上流に及び、ロンドン・グラスゴー等の如き河港を作る。 London Glasgow

氣候 北緯五十度以北に位すれども、海洋上の影響を受け温暖なり。南西風常に吹き、雨量多く霧深し。

産業 世界第一の商工業國たり、大ブリテン島には世界有数の



第六圖
イギリス
の氣候
ロンドン
の冬の
白晝の
長さを
示す
季節の
平均
気温
の表

第七圖
田主要の炭

工業により
て生活する
もの五百餘
萬人あり

北アメリ
合衆國、ア
ラ、ニウジ
ランドは富
國に食料を
與へ合衆國
は棉、花、
給す



炭田と鐵山とあり。加ふるに殖民
地より各種の工業原料を供給す
るを以て、國民の過半は商工業に
従事し、世界の工場、世界の商業王
の稱あり。

(一) 諸工業中最も盛大なるを綿織物・綿紡績とす。鐵工業・毛織
物・機械業等これに次ぐ。又造船業の盛大なること世界第一
なり。

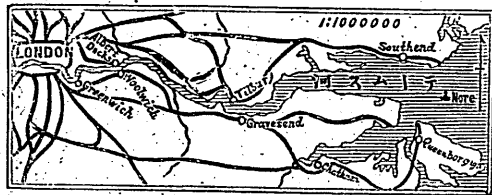
(二) 世界貿易の過半はイギリス國旗の下に行はれ、輸出入額
の如き我が十二倍の多きに達す。自由貿易國にて酒類・煙草
等の外課税せず。重なる取引國は合衆國・ドイツ・フランスに
て、我國の如き第十七位を占むるに過ぎず。殖民地との取
引は實に盛大にして、インド・南アフリカ・オーストラリアの

第八圖
テムズ
河口附近

如きは合衆國の上にあり。概ね食料品・原料品(羊毛等)を輸入
し、織物・糸類・鐵類・石炭等を輸出す。沿岸は漁業盛にて、農業
はアイルランドに行はるるに過ぎず。食料は一般に海外に
仰げり。

都會 商工業の發達かくの如きを以て、國
民の三分の二は都會に住し、人口二十萬以上
の都會二十の多きに達す。されば世界中人
口最も密なる地方の一たり。

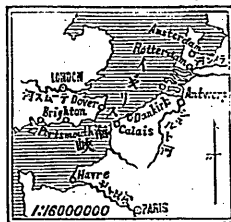
(一) イングランド 首府ロンドン(4)はテムズ河畔にあ
り、海を距ること六十哩の上流にあれども、遠洋航海の
大船出入し、我が歐洲航路の寄港地たり。人口六百四十
萬、世界第一の大都たり。河岸には國會議事堂、鐘え、植物
園、博物館等の宏大なるものあり。ウエストミンスター寺
は國王戴冠式の行はるる所にて、史上有名な人物多



アームスト
ロング会社
技あり我
國の軍艦
造りしに
多し

第九圖
イギリス
海峽附近

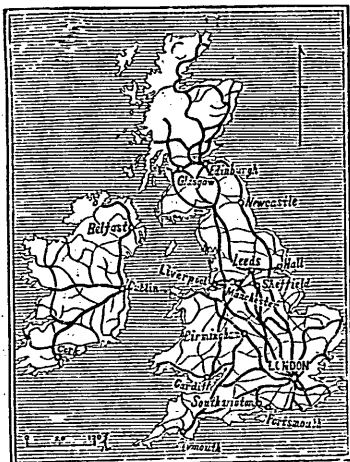
この寺に葬らる。市の東には名高きグリーンウィチの天文臺あり。(3)マンチェスターは綿工業の大中心地なり、綿花の首府と呼ぶ。綿紡績機業の盛大なること世界第一なり。此地方は當國第一の工業地にて、その東部にはシェフィールド、物産、毛織、バーミンガム、針等、の工業市あり。(4)リバプールは當國第二の貿易港にて、綿花の港と稱せられ、運河にてマンチェスターと通ず。輸出貿易額の多きことロンドンの上にあり。アメリカとの交通取引最も盛なり。(5)北海岸には、ニールカッスル・ハルの良港あり。ハルは國內第三の貿易港。ニールカッスルは造船業、石炭輸出に名あり。(6)海峽方面には大陸渡航の要津たるドーバー、世界最大の軍港たるポーツマス等あり。サザン・ドントンは大西洋航路の一中心なり。ウェールズにはカヂフ港あり、ブリストル港と東西相對し、無煙炭の輸出を以て聞ゆ。スコットランド 首府エディンバラは風光明媚、出版業盛にて、我が京都に比すべし。グラスゴーはクライド河畔にあり、造船業



盛大なり。

アイルランド 炭田乏しく、大工業行はれず、都會少なし、首府はダブリンにて、ベルファストはリンチル製造盛なり。

交通 商工業の發達に伴ひ、



海運業の發達著しく、イギリスは恰も世界航路の中心点たる觀あり。四萬隻と千百萬噸の船舶はその國旗を翻す。ロンドンには十萬噸以上を有する太瀛船會社七個、リバプールには九個あり。世界貿易の過半はイギリス國旗の下に行はる。海底電信線は全世界延長線の六割を占め、屬地を點綴して世界を一週す。その他鐵道、運河、電話等全國に普及す。

第一〇圖
英國の鐵道

人文

(一) 住民

ゲルマニ族最も多く、ゲルト族これに次ぐ。國民は一般に着實保守の氣象に富み、海事思想最も發達し、天涯萬里の地に樂しきホームを作ることその特色なり。世界到る所その殖民地を見ざるなく、今は本國に八十六倍せる土地と十倍せる人口とを支配す。英語は世界の通用語なり。教育は盛ならず。中學にはイートン・ハロー、大學にはケンブリヂ・オクスフォード世界に名高し。宗教は新教の一派を國教とす。アイルランドには舊教行はる。

五國會は五百
の開設は五
の開設は五
の開設は五

(二) 政治

世界最古の立憲王國にて、イギリス帝國の母國たり。帝國はインド帝國及び諸殖民地保護國等より成り、本國には印度省、殖民省を置く。陸軍は常備兵約二十萬あるに過ぎざれば世界の強國に比して、強大ならざれども、海軍は五十の戰艦、百五十の巡洋艦あり、世界の海王たり。我國

とは攻守同盟を結び、東アジア・インドの平和を確保し、且つ清國の領土保全を約す。ロンドンには我が大使館及び總領事館を置く。

フランス

FRANCE

イギリスと海峡を隔てて相對し、東はベルギー・ドイツ及びスウイス・イタリア、南はイスパニアと境す。地中海と大西洋とを控へ、コルシカ島を領す。廣さ我が國より稍大なるも、人口少なし。

地勢

アルプ・ユラ兩山脈は東境にあり。ピレニー山脈は南境に聳ゆ。アルプのモンブラン(四八〇〇米)は本洲第一の高峰なり。中央はオーベルニ高地にて諸流の分水嶺たり。此の地方許多の舊火山あり。ローヌ河はその東を南流す。北部

第一圖
フランス
の地勢



はセイヌ河の流域にて、本洲北部平原の一部たり。ロアル・ガロンヌの兩河はビスカヤ灣に入り、ローヌ河と運河を通じ、オーベルニ、高地を一周す。

海岸線 北西部は出入に富み、ブルターニ、半島西に突出す。ビスカヤ灣の南部は砂丘連り、リヨン灣には

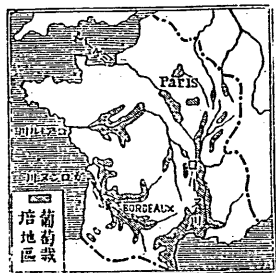
マルセイセ港あり、コルシカ島は沿岸第一の大島なり。

氣候 イギリスより温暖にて雨少なし。中部以東は稍大陸性を帯び、地中海岸は良好なり。西部地方には温暖なる海風流行す。

産業 農工商の三業よく發達す。國土七分の六は耕地に

第二圖
フランス
の葡萄産
地の分布

て國民の過半は農業に従事す。葡萄は産額世界第一、小麦は本洲第二なり。牧畜蠶業亦盛にて、蠶業はローヌ河谷に行はる。中央高臺中の低地、ベルギーの附近には炭田あれども鐵山と隔り、且つ産出少なし。工業は絹布製造葡萄酒醸造を主



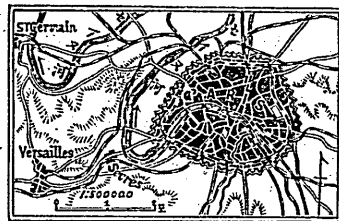
とし、共に世界に名高し。製革造船業等亦盛なり。輸入品は工業原料品を第一とし、輸出品は絹布葡萄酒毛織物等とす。合衆國、イギリスとの取引を第一とし、我國よりは盛に生絲羽二重を輸入す。

都會 産業との關係上面積に比して都會少なし、人口二十萬以上のもの五あり。

(1) セイヌ河域 首府パリは本洲第二の都會にて、政治交通商工業等の總

第一三圖
パリ市街

パリの王宮は、
ハルシー王の
八十年に、
ラシターナ
皇帝の位に
即位したる
所なり。



中心たり、城壁を以て圍み、建築壯麗、市街の美世界第一とす。美術工藝品をその特産とし、風俗華美、世界流行の中心たり。外人の來遊するもの多し。パリの南西にあり、史上に名高し。ル・アールはパリの外港にて、セ・イヌ河口にあり、國內第二の貿易港にして大西洋航路の起點たり。

(n) 北東炭田地方 リール、ルベール等の工業市あり、機業盛なり。

リール Roubais
ルベール Lille
ダンケルク Dunkerque
オランダ Oude

リスに對する要津なり。

(i) ロース河域 リオンは絹布工業の盛なること本洲第一たり、東南部交通の一大中樞にて、國內第二の大都なり。

セント・エチエンヌ St. Etienne

り、鐵工業の中心なり。河口に近くマルセイユ港あり、國內第一の貿易港たり。地中海沿岸及び東洋諸國との取引盛大にて、我が郵船の定期寄航地なり。

(s) その他 ロール河域にはナント、ガロンヌ河域にはボルドー港あり。

ナント Nantes
ボルドー Bordeaux

ボルドーは葡萄産地の中心なり。

人文

(一) 住民

北西半島地方にはケルト族あり。一般に性質輕快にて、華奢を好む。フランス語は歐洲上流社會及び國際上の用語なり。義務教育は強制主義を取り、且つ宗教と分離す。人口増加率甚だ低く、殖民はその短所なり。

屬領の廣さ約本國の二十倍に達す。

(二) 政治

屢大革命ありし後、現今の共和政治となれり。大統領は國民議會の選舉にか

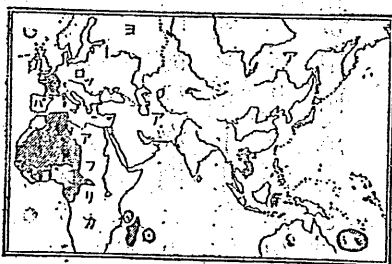
かり、國民議會は代議元老の兩院より成る。パリには我大使館を、リオンには領事館を置く。海軍は世界第二にて、ブレス

ト・シール、ブール、ツールは軍港なり。

Cherbourg

Toulon

Brest



第一四圖
フランス
の版圖

モナコ
MONACO
をたつ。

イタリアに近く海岸にあり、廣さ一方里、人口萬餘、賭博税にて國

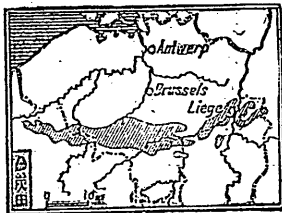
ベルギー BELGIUM

西は海を隔ててイギリスと相對し、フランス・ドイツ・オランダと境を接す。廣さ我が九州より狹し。

地勢 南東部はアルデンヌ高臺にて、北西部は海面より低く、中央部は平原なり。マース川は東境を、シュルト川は國の中央を北流す。運河と相待ちて舟利頗る大なり。海岸線僅に十七里に過ぎず、砂丘連續す。沿岸一帯南西風吹き、夏涼しく冬暖かなり、濃霧多し。

産業都會 (一) マースの沿岸には豊富なる炭田あり、鐵・鉛をも産し、鑛産豊かなり。されば工業頗る盛大にて、鐵工業

第一五圖
のベルギー

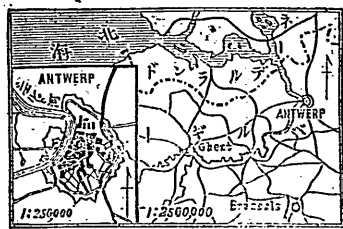


玻璃器・レース・機業等行はれ、各一種の特色あり。レースの如き世界無比と稱せらる。商業亦盛大、貿易額我が國に三倍し、織物・鐵器・玻璃等を輸出す。輸入品は穀類・織物原料を主とす。これ農業盛なれども、國內の需用を充たすにたらざるによる。

(二) 人口密度世界第一にて、その比我に二倍す。

第一六圖
アンペル
附近及其
の諸島

首府ブルッセルは小バリの稱あり、國會紀念碑裁判所等有名の建物あり、商工業の中心にて、亦鐵道系の中心なり。この國の鐵道は面積に比すれば延長世界第一なり。我公使館を置く。南方五里にワテローの古戰場あり。アンペルは本洲中部の大貿易港にて、我が郵船の寄港地たり。オランダはイギリス



に對する要津にて、リエージュ、ガン等亦工業上の中心たり。

人文 (一)住民、北部にはゲルマニ族あり、フレミシ語を用ふ。南部にはラチニ族あり、フランス語を使用す。(二)政治、立憲王國にて永世中立國たり。海軍なく、陸軍は國內警備に任ずるに過ぎず。國民に自由を與ふること他國に比なし。國王はコンゴ獨立國(アフリ)を管理す。

ルクセンブルグ、ベルギーの南東部にあり、廣さ琉球より稍大なり、工業盛大、鐵の産額多し、永世中立國たり。

オランダ HOLLAND = NEDERLANDEN

ネーデルランドと稱し、ベルギーの北にあり、ドイツと接し北海に面す。廣さ我が九州より小なり。

地勢 世界第一の低地國にて、平均高度僅に三丈五尺、國

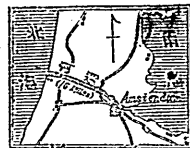
第一七圖
オランダ
の地勢
オランダ人
は風と蒸氣
と砂と熱と
を味方とし
て水と戦ふ

土の四分の一は海面下にあり。國の中央に深く灣入せるをゾイデル海とす。河流にはライン・マース等の大河あり、全國殆ど三角洲中に横はる。運河・堤坊、蜘蛛の巣に類し、防水工事の發達せること世界第一なり。有名なる風車は四時絶ゆることなき風力を利用せるものなり。



産業都會 牧畜盛大にて、乾酪・牛酪は國産中最も重要な。亞麻・甜菜の産多く、園藝發達す。沼澤の排水盛に行はれ、年々肥沃なる新耕地増加す。ゾイデル海亦排水中なり。國內金屬の産なく、礦産は僅に泥炭・陶土あるに過ぎず。機業・金剛石・細工等の小工業發達す。貿易は盛にて、人口別貿易額の多きこと世界第一なり。我が國の如きは、その五十分一に過

第一八圖
北海運河



ぎず。珈琲・機那・錫等を殖民地より輸入し、鐵器・穀類等を他國より輸入す。牛酪・乾酪等の輸出盛なり。國內第一の貿易港をロッテルダムとす。ライン河口にありて、内外航路の集點たり。阿姆斯特ダム之に次ぎて、商業盛なり。北海より運河を通じ大船の出入自在なり。國內第一の大都とす。首府ハーグは清楚なる都會にて、我が公使館あり。

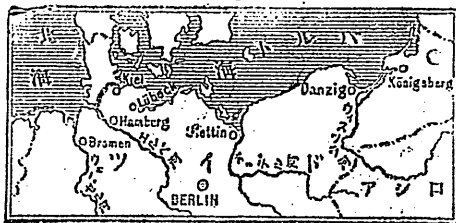
人文 ゲルマニ族にて、海國民として昔時は全世界の海上權を握りしことあり。嘗て我が文明に貢獻せし所尠なからず、勤儉にて潔癖あり。殖民地はマライ群島を主とし、廣さ本國に六十倍す。

バルト海諸國

ドイツ GERMANY = DEUTSCHLAND

本洲の中央に位し、バルト海の南岸を占む。露・佛兩國の間にあり、七國と境を接す。廣さ我國より稍大なり。プロシアを盟主とし、バワリア・サクソニア等の聯邦より成る。

地勢 南部は高原性にて、小山脈起伏し、森林に富む。北部は本洲大平原の中部にて、東方に廣し。エルベ・ウーゼルは北海に、オーデル・ウイッスラはバルト海に注ぐ。河口は良港に富む。西部のライン河はドナウ・セイヌ兩河と運河を通じ、交通の便を助くること頗る大なり。沿岸風景に富む。



第一九圖
ドイツ北部地方

氣候 概ね大陸性にて一般に乾燥す。平原の西部は温暖にて、南部及び東部は寒暑共に強く、バルト海岸は、まゝ氷結することあり。

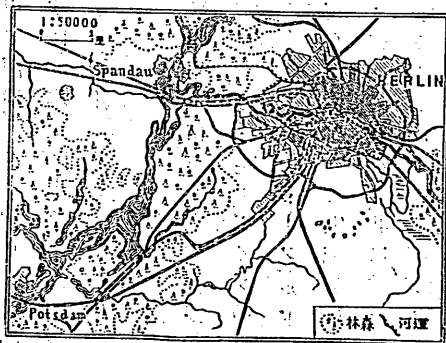
産業都會 ⁽¹⁾各種の産業よく發達し、世界第二の商工業國たり。北部に麥類・馬齡薯・甜菜の産あり。南部に葡萄・ホツブ煙草を産す。馬齡薯は細民の常食品にて、甜菜は砂糖原料たり。甜菜の産額世界に冠たり。牧畜亦盛にて豚多く、林業は制度よく整ひ、各國の模範たり。 ⁽²⁾鑛産は頗る豊富にて、石炭鐵はその産額世界第三位を下らず。その他岩鹽・銀・亞鉛・銅等の産あり。 ⁽³⁾工業は機業及び鐵工業を第一とし、化學工業・造船業之に次ぐ。造船業はイギリスに次ぎ世界第二なり。全國民の殆ど半は工業に従事し、ライン河岸及びサクソニア最も盛なり。サクソニアは人口極めて密、その八割は工業に従事す。

ドイツの石炭は多く大
河の近傍に
あり、運搬費
低廉なり

⁽⁴⁾商業・貿易額我が八倍に達し、輸入品の首位を占むるものを穀類とし、原料品之に次ぐ。輸出品は織物を第一とし、鐵器・機械・皮革・砂糖等之に次ぐ。合衆國・イギリスとの取引最も多く、我が國へは砂糖・染料を輸出す。

都會 全人口六千餘萬あり。サクソニアは最密なり。都會は概ねライン・エルベ兩流域に集合す。

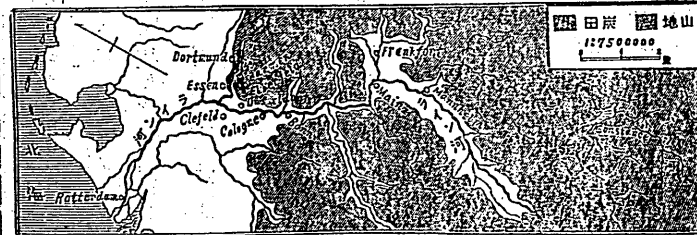
(一)エルベ流域 ⁽¹⁾中流域には、ベルリン・マグデブルグあり。ベルリンは帝國及びプロシヤ王國の首府たり、政事・學術・商工業の中心にて、我が大使館を置く。ベルリン大學は有名なり。マグデブルクは砂糖製造の中心地たり。 ⁽²⁾上流地方には、ドレスデン・ケムニツ・ライプチヒ等の諸都會あり。ドレスデンは、サクソニア



第110圖
ベルリン

第二圖
ライン川
流域の一

ハ
ス
は
ス
に
も
造
り
し
て
な
り



の首府たり、美術工藝を以て開ゆ。ライプチヒは學術工藝の中心たり、⁽¹⁾下流には本大陸中第一の商業港たるハンブルグあり、其の取引の盛大なることロンドンに次ぐ。

(二)ライン流域 ⁽¹⁾下流には炭田、鐵山あり、大都會多し、即ちクルップ鐵工所の所在地たるエッセン、ドイツのリヨンと稱せらるるクレーフェルトあり、クレイフェルトはデュッセルドルフと共に絹布製造盛なり、⁽²⁾上流域にはDUSSELDORF、FRANKFURT AM MAIN、STRASSBURG等あり、共に重要な都會たり。

(三)その他南部には、⁽¹⁾ドナウ流域にバワリア王國の首府たるミュンヘン、⁽²⁾ウーゼル流域には帝國第二の商業港たるブレーメンあり、⁽³⁾オーデル河の上流域には毛織物業の中心たるブレスロー、⁽⁴⁾下流には造船に名高きステットンあり、⁽⁵⁾尚ほ北海岸には東にダンチヒ港、西にリッピン、⁽⁶⁾キールの南港あり。

第二圖
ライン川
流域の一

交通 鐵道は殆ど官設にて主要都會間に通じ、又諸大河は悉く運河にて連絡す。殊に北海・バルト海間にはキール運河(ウイヘルム運河)あり、交通頗る便なり。河はラインを第一とし、エルベ河之に次ぐ。ハンブルグ・ブレーメンは外國航路の起點にて、大汽船會社多し(十萬噸以上を有する會社は三に)。北ドイツロイド會社はブレーメンにあり。



人文 (一)住民 ゲルマニ族にて、東部にはスラブ族住す、勇敢勤勉にて質素なり、麥酒を嗜む。教育最も進歩し、二十一大學あり、就中ヘルリン・ライプチヒ・ミュンヘン等最も名高し、ドイツ語は學術語として行はれ、此の國は自世界學術の中心たり。

(二)政治 もと幾多の獨立國なりしが、三十餘年前、フランスとの戦捷の結果、建設したる聯邦帝國にて、プロ

シア・バワリア・サクソニア・ウエルテンベルヒの四王國、ハンブルグ・リッペック・テレーメンの三自由市及びその他の十八國より成る。エルザス・ロートリンゲンはフランスより割讓せしものにて、皇帝の直轄地とす。ドイツ皇帝はプロシア王の兼ねる所にて、外交・兵馬の權を握り、立法權は帝國・聯邦兩議會に存す。各聯邦は立憲君主政體にて、自由市は共和政體なり。陸軍はその精銳本洲第一にて、戦時には五百萬を出兵し得べし。海軍亦盛に擴張せられ、艦艇二百餘隻に及ぶ。殖民地は本國の四倍に及べども、未だ盛ならず。

デンマルク DENMARK

ドイツと境を接し、バルト海の咽喉を扼す。ユットランド半島及び附近の島より成り、廣さ我が九州に半す。

この國はバルト海の要衝にあり、地位は重要なり。

地勢・産業 土地低平にて、半島の西岸は砂濱沼澤多く、東岸は出入に富み島多し。スカンデナ비아半島との間にスカゲラク・カテガットの兩海峡あり、牧畜盛にて、牛酪・乾酪の産名高く、牛酪は輸出額の半を占め、イギリス・ドイツとの取引盛なり。

人文 島は人口密にて、首府コペンハーゲンCOPENHAGENはシルランド島の東岸にあり、樞要なる位置を占む。住民はゲルマニ族にて、王室はイギリス・ロシア・ギリシア・ノルウェー等の皇室と血族的關係を有す。北西の海上にあるイスラントは殖民地にて、種族・言語・風俗等全然本國と同一なり。漁業盛なり。島内火山・間歇泉多きを以て殊に有名なり。



第三圖
コペンハーゲン附近

スウェーデン SWEDEN

スカンデナビア半島の東半を占め、廣さ我國より稍大なるも、人口は僅に五分の一に充たず。

地勢 高臺多く、海岸には平野發達す。河流は瀑布に富み、水力利用せらる。南部は湖水多く、交通頗る便なり。氣候は東南より來る陸風を受けて、寒風凜冽、氷結四月に及ぶ。

産業都會 林産及び鑛産に富み、木材・鐵・銅を産す。マツチ製造と製鐵業とは有名にて、木挽工場多し。材木・製紙原料・鐵・銅・マツチ等を輸出し、石炭・織物・食料品等を輸入す。ゴットランド半島は主要生産地にて、都會茲に集合す。

Stockholm 首府ストックホルムは主要なる商業地にて、軍港を兼ね、我が公使館あり。國內第一の貿易港をゲテボルクとす。東海との間に湖水を連綴せる運河あり。半島を横斷す。Cöteborg

人文 前世紀の始よりスウェーデン王はノルウェー國の王位を兼ねしが、近年(一九〇五年)分離せり。立憲王國にて、スウェーデン語はデンマルク語と密似す。これ等三國は人種(ゲルマン族)宗教同一にて、風俗亦類似す。教育の普及せること世界第一なり。北部には未開のラップ人あり。

ノルウェー NORWAY

スカンデナビア半島の西半を占め、廣さ我が國より稍小に、人口二十分に過ぎず、有名なる漁業國なり。

地勢 北部は山地にて、南部は高原性なり。海岸は峽灣にて、高さ數千尺の絶壁をなし、瀑布氷河のかかれるあり。本洲第一の壯觀を呈す。されど、灣流の影響によりて、氣候温暖に、最北の峽灣と雖も氷結することなし。

この國の人は、
適する生活の
なり。海流の賜に
なり。

第二四圖
ノルウェー
水産分
布



産業都會 三大漁場の一にて、ロフテンを中心とし、鯉、鯨類多く、鯨漁は壯觀を極む。林産頗る豊富にて、漁業と相待ちて造船業發達す。船舶噸數は世界第四位を占め、魚類及び木材は重要な輸出品たり。穀類、石炭、織物等を輸入す。

人口稀薄なること本洲第一なり

首府クリスチアニアは、スカゲラク海峡に臨み、峡灣中にあり、一年中四ヶ月間氷結す。ベルゲンは氷結の患なく貿易盛なり。

人文 立憲王國にて、國民は海事思想に富み、船舶噸數の人口に對する比は世界第一なり。

ロシア RUSSIA

シベリアの西、バルト海及びドイツの東にあり。廣さ本洲の

過半を占め、我が國に十三倍す。

地勢 アジアの境には、山勢緩なるウラル山脈あれども其の他著しき山脈なく、國內頗る平坦、バルダイ丘を主要の分水界とす。南流するものには裏海に注ぐボルガ・ウラル、黒海に注ぐドニエブル・ドシの兩河あり。又デウナはバルト海に、ドビナは白海に注ぐ。南部は草原にて、北に到るに従ひて森林帶凍土帶となることシベリアに類す。北西部は湖沼に富み、フィンランドにてはその數二十萬に及ぶ。

海岸線 バルト海はボスニア・フィンランド・リガの三灣に分れ、黒海にはクリム半島突出して、アゾフ海を抱き、北極洋岸には白海を控ふ。一般に出入多く、海洋の分布よろしけれども内海多く、且つ長期氷結の患あり、利用少し。

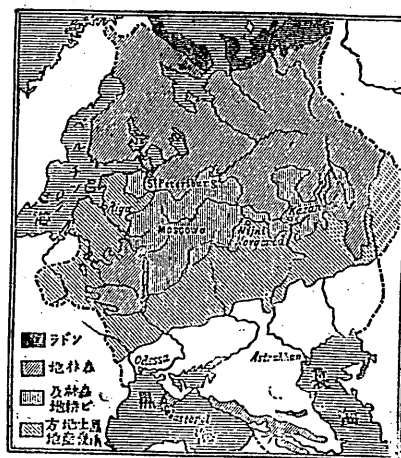
氣候 大陸性にて寒暑の變化急激なり。南部の如き四月

下旬に至れば忽ち融雪し、須臾にして綠草滿つ。北部は冬長く夏短し。

産業 農業國にて、住民の九割はこれに従事す。耕地は南

半部に、森林は中部以北に多し。
 (1) 國の南部に黒土帶あり、黃土に腐敗植物の混じたるものにて、頗る肥沃なり、本洲の穀倉と稱す。麥類(燕麥、裸麥)はその産額頗る多く、畜産(牛、馬、羊、豚)と共に本洲第一たり、馬殊に多し。凍土帶には馴鹿を産し、森林帶には野獸多し、世界有数の林業國にて松、樅材を主とす。(2) 水産中有名なるは裏海に産する鱒なり。(3) 鑛産亦一富源を成す。鐵、石炭の

第二五圖
ロシアの
産業地



して、更に訓練したる練軍あり。練軍の外は實用に適せず。海軍は北洋艦隊全滅後勢力振はず。科擧の制度全廢せられて北京大學堂を初め、各地に師範學堂、武備學堂等設立せられ、教育、軍事等の施設大に面目を一新せり。

我國との關係 我が國は英國と同盟し、又露佛兩國と協約して、清帝國の獨立及び領土を保障し、殊に滿洲に於て特殊の關係を有するに至りたれば、兩國の關係は益々密接す。

(一) 貿易はその額イギリスに次ぎて、列國中第三位にあり、我が國よりは綿絲を第一とし、銅、石炭、摺附木、水産物、卷煙、草、綿布、木材等を輸入し、清國よりは繰綿を第一とし、豆類、豆糟、羊毛、苧麻、赤砂、糖、牛皮等を輸出す。(二) 清國の沿海及び長江沿岸には日本郵船、大阪商船を初め、日清汽船會社等の定期航路開始せられ、開港場其の他主要の商業地には概ね、日章旗

を見ざるところなし。(三)北京には我が公使館、哈爾賓、天津、上海には總領事館、芝罘、南京、蘇州、杭州、廈門、汕頭、廣東、漢口、沙市、重慶、英領香港等には領事館を置く。總領事館及び領事館(香港を除く)の所在地には我が郵便電信局あり。(南滿洲に關しては韓國及南滿洲政治の部を參考すべし)(四)清國官吏學生の我國に來る者多く、學生のみにても數千あり。又支那本部、滿洲、蒙古に至るまで、本邦人の教師、顧問として招聘せらるるもの亦頗る多し。その他商業貿易等のため在留するもの總數殆と三萬に及び、實に在留外人中の最多數を占む。

インドシナ IND-CHINA

支那本部の南に位する一大半島なり。廣さ我が國に五倍し、人口稍少し。中央は獨立國シムにて、東は佛領インドシナ、西

軌道は五呎
あり世界中
最廣式の
ものとす

て河流、運河の便による。^(a)鐵道はモスクバを中心として四方に通じ、ペテルブルグより約十三日間にて、日本海に達し得べし。^(b)海運は多く外人の手中にあり、義勇艦隊はオデッサを起點とし、東洋航路に従事す。

人文 (一)住民 ^(c)頗る複雑なれどもスラブ族大部分を占む。その他、ヨーロッパ系統の者には、ゲルマニ族、ユダヤ族等、アジア系統のものには、フィン族、ラップ族あり。又兩系統の混合種少なからず。^(d)これ等各人種の統一を計るものは國教たるギリシア教なり。國人の八割はその教徒たり。^(e)言語亦複雑にてスラブ語を國語とす、ポーランド語は西部に多し。^(f)專門教育は盛なれども、普通教育は未だ普及せず。^(g)支那茶を用ゆること多く、燕麥にて造れる黒パンはその常食品なり。

(二)政治 立憲帝政にて、^(h)皇帝は政治上の元首たるのみなら

ず、宗教上の元首たり。⁽ⁿ⁾ 地方行政は五總督（⁽ⁿ⁾ボヘミア、⁽ⁿ⁾モラヴィア、⁽ⁿ⁾シレジア、⁽ⁿ⁾ポロニア、⁽ⁿ⁾ガリチア）を、ワルシア（⁽ⁿ⁾ポロニア）・ヘルシングフルス（⁽ⁿ⁾フィンランド）・モスクバ・キエフ・ビルナ（⁽ⁿ⁾ロシア）の五市に駐在せしめ、統治の責に任せしむ。⁽ⁿ⁾ 陸軍は三十三軍團より成り、戦時には殆ど五百萬を出兵し得べし。⁽ⁿ⁾ 海軍はバルト海・黒海・東洋の三艦隊に分る。東洋・バルト海の兩艦隊は日本海、海戦後未だ再興するに至らず。

コサック兵は皇太子を總督とせる特別なる一階級を成し、納税の義務なく、住地は皇帝より下附す。壯丁の多くは入隊し、その餘は農牧に従事す。ドン河附近のコサック最も有名なり。

中部諸邦

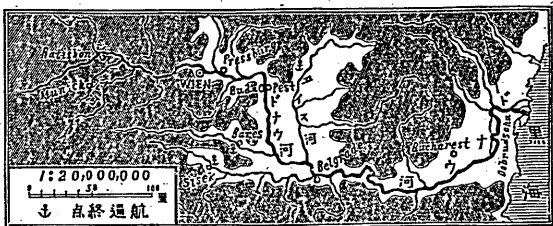
オーストリア・ハンガリア

AUSTRIA-HUNGARY

本洲の中央に位し、北はドイツに接し、南西、アドリア海に面す。廣き畧我が一倍半に當る。オーストリア帝國（我が本州）⁽ⁿ⁾ ハンガリア王國（本州北州）より成る。

地勢 (一) オーストリア、殆ど山地にて⁽ⁿ⁾ 西

部はアルプの山地たり、チロル地方は風景に富む。⁽ⁿ⁾ 北東はボヘミア高原にてエルベ河域に屬す。⁽ⁿ⁾ ガリチア地方はカルパチア山脈の北東にて平原たり。ポーランド地方に接す。⁽ⁿ⁾ (二) ハンガリアの中央部はドナウ河及び其の支流タイス河の流域にて、ハンガリア平原を成し。⁽ⁿ⁾ 東部は山地にて、トラ



第二七圖
ドナウ河
の流域

クワカウ南
東の岩は
千二百尺
厚さなる
に長さ百
及ぶ里

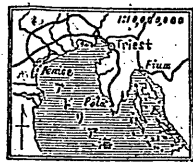
人口十一萬
以上の都
会は六
あり
オースト
リアに
あり
第二八圖
トリエス
ウメ

ンシルバニア高原あり。(三)兩國とも僅に海に面し、良港に乏し。(四)海岸は温暖多雨なれども、内地は寒暑共に烈しく、且つ乾燥す。

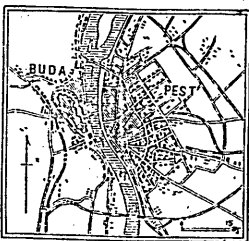
産業都會

(一)牧畜盛に、葡萄、甜菜、ホブ、橄欖等の産あり。山地は森林多く、又鑛産頗る豊なり。岩鹽は世界に名高し。(二)ホングリア平原は名高き穀産地にて牛馬亦多し、住民の過半は農業に従事す。(三)オーストリアは農工殆ど相半し、工業盛なり。これ石炭、鐵等の原料品を産するに因る。機業、硝子製造、製糖業等行はる。輸出品は家畜穀物、木材等、輸入品は綿花、羊毛等なり。重にドイツと取引す。(四)ハンガリアの人口は我が本州の半に過ぎず。都會はオーストリアに集まる。

(五)オーストリア 首府ウィーンはドナウ河に沿ひ、商工業の中



第二九圖
ブダペスト



心にて鐵道水運の中樞たり。人口百七十萬壯麗華奢なり。我が大使館あり。ブラーグはボヘミア硝子の集散地にて、トリエスは沿岸唯一の貿易港たり。(六)ハンガリア 首府ブダペストはドナウ河に跨り、右岸はブダ、左岸はベストナリ、麵粉、農具の製造に名あり。ブイッメは國內唯一の商港たり。

人文

(一)住民

人種言語宗教何れも複雑なり。オーストリアにはゲルマニ族最も勢力あり。ハンガリアにはマジール人勢力を占む。スラブ族亦多し。舊教徒多きも希臘教新教亦行はれ、言語十數種に分る。教育はオーストリアによく普及す。

(二)政治

オーストリア帝はハンガリアの王位を兼ね、二國は外交、軍事、財政を共通にす。各種族の軋轢止む時なく、統治困難なり。屬地としてはバルカン半島のボスニア・ヘルゼ

ゴビナの二州あるに過ぎず。

リヒテンシュタイン 廣さ隠岐の約半ばに過ぎざる獨立國なり。

スウイス SWITZERLAND(SUISSE)

ドイツ・フランス・オーストリア・イタリアの四大國間にあり。廣さ人口とも我が國の一割に過ぎず。

地勢 國內アルプ山脈蟠り、ユングフラウ(七米一六)・モンローザ(八米六三)等有名の高峰たり。山中には氷河多く、その水流れて急流瀑布を成し、大河の源を成す。山間の湖水は風景に富み、深度著しきを以て聞ゆ。ジ・ネー・ブ・チ・ー・リ・ヒ・ボー・デン等は、その最大なるものなり。氣候一般に冷かにて、アルプ地方は雨量多く、九千尺以上の地は常に白雪を戴く。アルプは交通上の一太障壁たりしも、今はサンゴタルド・シンプロン

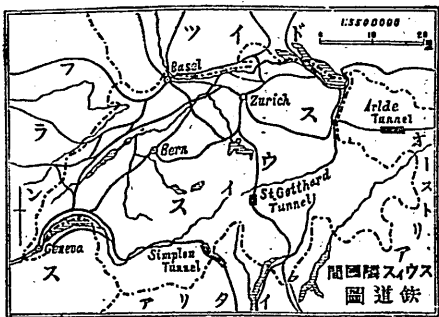
(SAINT-OTTHARD) SIMPLON

第三〇圖
スイス
の鐵道網

の二大隧道を通ず。シンプロンは世界最長の隧道にして、其の長さ五里に達す。

産業都會 牧畜盛にて、乾酪・牛酪は有名なり。地形上水力利用に適せるがため、國民の過半工業に従事す。機業・時計製造をその主要工業とし、世界に於ける時計の過半はこの國の製品なり。都會は多く湖岸絶景の地にあり。夏季には歐米諸國人の遊覽地たり。さればホテル業は主要生業の一にて、この國最大の建物はホテルなり。

チューリヒは當國第一の都會にて、同名の湖畔にあり。ジュネーブ亦著名なり。ベルンは首府にて赤十字本部茲にあり。



人文 永世中立國にて、大統領の年期は僅に一年なり。住民は勤勉にて、愛國心強く自由を愛す。多くはゲルマニ族にて、ラチニ之ニ次ぐ。ドイツ語は北部に、フランス語は西部に、イタリア語は南部に行はる。過半舊教に屬するも、新教亦有勢なり。

半島諸國

イタリア ITALIA

地中海の中部に於ける半島國にて、アルプ山脈以南を領し、シチリア・サルジニアの二大島之に屬す。面積人口とも約我が七割に當る。

地勢 (1) 半島部は長靴形をなしアペニン山脈主軸たり、チ

第三圖
イタリア



ベル河南流す。中部以南はストロ
ンボリ・バリ・シチリアの諸島と
共に火山帶に屬し、ベスビオ・エト
ナ等の活火山あり、地震多し。北
方ポー河の流域は地味肥沃、ロン
バルディア平原の稱あり。

氣候 北部は大陸的にて寒暑
烈し。半島部は常に温暖にて乾燥すれども、マリア熱流行
す。

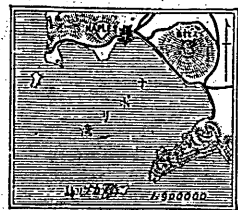
産業都會 (一) 農業國にて、國民の過半これに従事す。葡
萄の産フランスに次ぐ、その他米・橄欖の産あり。大理石・硫
黄の産あれども石炭を産せず。製糸機業・葡萄酒醸造等盛
にて、橄欖油・麥稈眞田に名あるも、大工業は未だ發達せず。(2)

穀類・石炭・綿花・金屬等を輸入し、生糸・橄欖油・葡萄酒・絹織物・硫黃等を輸出す。重にドイツ・イギリス・合衆國・フランスと取引し、我が國との取引亦漸く盛ならんとす。

(二)都會はポー流域と半島沿海の地方とにあり。名所舊跡に富み、歐米人の遊覽地の一たり。

第三圖
ナポリ

(一)首府ローマはチベル河畔にあり。ローマ帝國の舊都にてその遺跡頗る多し。博物館にはこの國特有の美術品を藏す。セントポール寺ハ舊教の總本山にて、バチカン宮殿と共に有名なり。我が大使館を置く。ナポリは國內第一の大都にて、ナポリ灣頭に位す。市街の南東にはベスビオ火山あり。最も風光に富む。ベスビオの麓にはローマ時代の遺物たるポンペイ市跡あり。ブリンデシは半島縦貫線の終點に近き港にて、東洋郵便線路に當る。リボルノは麥稈・橄欖油を輸出す。ゼノバは同名の灣頭にあり、貿易の過半はこの地に行はる。シンツ



ロン隧道開通後益々有望にて、マルセイユを凌がんとす。

(二)ポー河域は人口最も密、ミラノは生糸機業の大中心地にて、交通上重要な位置を占む。ベネチアは七十餘の島上に在り、その間の溝渠を街路とす。全市街水上に浮べるが如し、色硝子細工に名あり。

人文 住民はラチニ族なり。北部の者は勤勉なるも、南部の住民は安逸を貪る。古來美術に長じ、彫刻・繪畫等有名なるもの多し。言語・宗教・人種の統一せること本洲中その比なし。現王國は一八六一年の建設にて、海軍盛なり。

サンマリノ 人口一萬の小邦にて共和政治を行ふ。

バルカン諸邦 BALKAN STATES

アドリア海・黒海間の半島國にて、トルコ・ギリシア・モンテネグロ・セルビア・ロマーニア・ブルガリアの五國に分る。

第三三圖
バルカン
地方



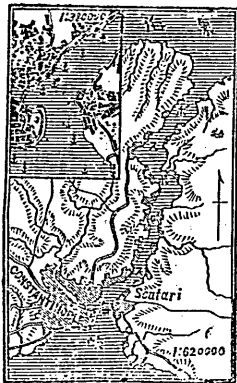
地勢 (1) 半島の北部はドナウ河の流域にて一大平原を成し、舟運の便あり。支流にはセルビアにモラバ川あり、トルコのマルツ川と共に鐵道線路に當り、交通上大切なり。南部はバルカンアルプ・ピンドス及びバルカン等の諸山脈蟠り、山地多し。沿岸は南部に進むに従ひ出入繁く、ギリシア半島を最とす。そのコリント灣は運河にて東岸に通じ、半島を兩分す。

氣候 北部平原は東北に開き、中部は高原性なるを以て、共に大陸的なり。南部は緯度低く海洋の調和あるを以て温和なり。西岸は一般に雨量多し。

産業・都會

ドナウ河流域は穀類の産多く、殊に小麥に富み、牧畜之に次ぐ。北西部は林業に名あり。トルコは絨氈・薔薇油、ギリシアは橄欖油・乾葡萄に名あり。ロマニアは石油を産す。

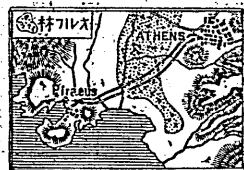
第三四圖
コンスタン
チヌポリ



(一) トルコ(廣く本州)はアナトリアとの商業盛にて、外國貿易はイギリスとの取引最も多し。首府コンスタンチヌポリは商業交通の中心にして、形勝の位置を占むること世界中類稀なり。回教寺院・宮殿の宏壯なるもの多し。サロニキは外國貿易盛にて首府と共に大陸鐵道幹線の一終點なり。アドリアノブルは、マリツァ河に臨み交通便に、商業行はる。近郊薔薇園多し。(二) ソフィアはブルガリア公國の首府たり。(三) ギリシア(我が北州)は商業航海に従事するもの多く、昔時文學技藝の淵

第三五圖
アテネ

源たりじ地なり。首府アテネはギリシア文明の中心たりし地にて、ピレウスをその外港とす。コリント地峡開鑿せられ、海運の便頗る大なり。
(四) モシチネグロ(我が四)の首府はチエチニエ。(五) ゼルビデ(我北州)の首府はベルグランドなり。(六) ロマニア(我が南州)の首府はブカレストはドナウ平原の中央にあり。ガラツはドナウ河岸の穀物輸出港なり。



人文 歐・亞兩大陸接續點なるを以て、幾多の種族あり。アジア系統のトルコ族、ヨーロッパ系統のギリシア族、スラブ族、ラチニ族等最も多し。ギリシア族はギリシアに住す。昔時本洲文明の源泉たり。トルコ族は頗る強勢にて、最近世まで全半島を領せしが、今はその領域に數多の獨立國を分立し、ヨーロッパは僅に我が本州より大なる地方を領す。

るに過ぎず。屬領にはブルガリア(北州と)クレテ島あるも、その實獨立國に異ならず。されどアジア・アフリカ兩大陸の領土を合する時は廣さ我が國に十倍す。

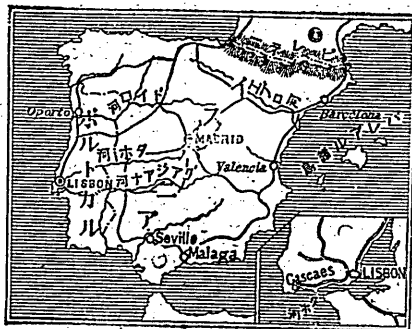
イスパニア及びポルトガル

SPAIN(HISPANIA), PORTUGAL

イベリア半島にあり。イスパニアは半島の大部分を占め、我が國より稍大に、ポルトガルは大西洋岸の西部を占め、廣さ我が北州に等し。

地勢 北方にピレネ、南方にシエラネバダ山脈あり、共に東西に延ぶ。中間は概ね高原なり。河流は多く山脈に沿ひ、東西に分流す。タホ・グアダナ等は西流し、エブロ河は東流す。沿岸平地乏し、舟運の利少なし。海岸は單調にて、ミノ

第三六圖
イスパニア
半島



ルカ島はイスパニアに屬す。北西の山地は降雨多きも、内地は雨少なく、氣候概ね大陸性なり。ポルトガル及びエプロ河谷は溫和なり。

産業都會

(一) 葡萄・コルクは半島の

主産物にて、橄欖は産額世界に冠たり。又イスパニアは銅・鐵・水銀・鉛等の鑛産に富めども、工業の資料たること少な

く、鑛石のままにて輸出せらる。一般に葡萄酒・橄欖油・コルクを輸出し、穀類・綿布を輸入す。

(二) 人口密度小にて、イスパニアは我が三分の一、ポルトガルは二分の一に過ぎず。

(4) イスパニア、首府マドリードは本洲各國の首府中最も高處にあり、商業

及び交通の中心にて、氣候の不良と王宮の巨大とを以て名あり。我が公使館を置く。バルセロナはこの國第一の商港にて、機業盛なり。カヂスは三千年來の商港なり。トラファルガルはその南にあり。グラナダ・コルドバは古都にて遺跡多し。

(5) ポルトガル、首府リスボンはタボ河口にあり、灣内廣く、全世界の海軍を入るるに足る。ポルトは葡萄酒輸出を以て顯はれ、ポルト酒有名なり。

本洲諸國と我が國

本洲諸國は東洋に領土を有する強國多く、その勢力範圍廣大なり。加ふるに東洋は本洲諸國の通商上競争市場たり。我が國は東洋唯一の強大國たるを以て、國際上及び經濟上甚だ密接なる關係を有す。イギリスは我が同盟國にて國誼厚く、ロシアは三十七八年戦争の結果、國土我と相接し、ドイツは我が留學生の集る所にて、フランスはロシアの同盟國

たり。我が條約國は以上四國の外、十一國の多きに達し、六大使館(イギリス、フランス、ドイツ、イタリア)、四公使館(スウェーデン、オランダ)を置き、國際間の要務を處理せしめ、尙ほ總領事館(ロシア、ベルギー)、領事館(リヨン、アン)を置きて通商のことを司らしむ。各國中我が東京に大使館を置けるは五國にて、公使館を置けるもの六國(我が公使駐在國に達す。ギリシアを除けば横濱、神戸、長崎には領事を駐在せしめざるなく、函館、東京、大阪、下關、淡水、安平、臺南等のものを合する時は、其の數四十五の多きに達せり。我が國と通商盛なるはイギリスにて輸出を主とし、ドイツ、ベルギー、スウエス等之に次ぐ。フランスは本洲中我が第一の華客たり。イタリアとの取引亦次第に増加せんとす。

アフリカ洲 AFRICA

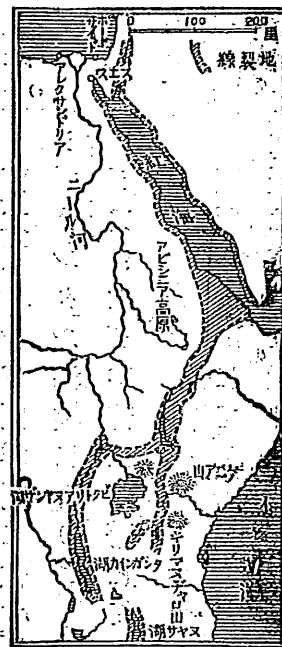
總説

地中海の南、大西・インド兩洋間に位す。スエズ地峽によりアジアに、ジブラルタル海峽によりヨーロッパに近接す。各大洲中廣さアジアに次ぎ、中部は熱帶にて南北兩部は温帶中にあり。

地勢 高原の大陸にて、東部地方最も高し、内地は概ね沙漠にて、山脈は海岸に近く連り、沿岸低地少なし。

(一)大陸の北半は殆ど橢圓形を成し、その東部はエジプトにて、本洲中最も重要なニール河は南東アビシニア高原の水を合せ北流す。中央はサハラ沙漠にて、北をバルバリー高

第三七圖
アフリカ
地帯



地(一)南をスダン地方とす。スダンにはニール河、チアデ湖あり。
(二)南半は畧三角形を成し、地形上自三部に分る。東部高地は
本洲最高のキリマヌジロを初め火山多く、且つ地溝帯に生
ぜしタンガンイカ。
スヤサ等狭長なる
湖水連續す。この地
溝帯は紅海を経て、
アジアのヨルダン
河谷に及ぶもの。
一部とす。南部高地はカラハリ沙漠を含み、ザンベジ川北部
を東流す。西部には水量豊かなるコンゴ河谷あり、別に一區
域をなす。

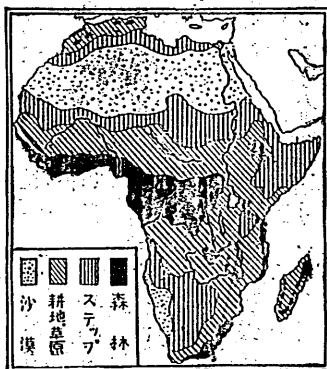
海岸線 各大陸中最も出入に乏し。東方に突出せるはソ

第三八圖
アフリカ
の地帯別

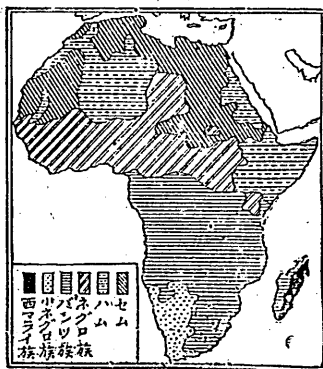
マリランド、大陸の南端をアグリッス岬とす。西岸の大灣をギ
ブア灣、北岸の小灣をガベス灣とす。マダガスカル島は沿岸
第一の大島にて、マウリシアス・レユニオン・ザンジバル等の
小島と共に印度洋中にあり。カナリア・セントヘレナ等の諸
島は大西洋中に存す。

氣候生物 (一)海洋の影響は内地

に及ばず。兩回歸線の地方は乾燥に
て沙漠を成す。赤道地方は毎年兩度
の雨期あり、雨量少なからず。森林繁
茂す。南北兩溫帶地方は氣候溫和に
て生活に適す。(四)生物には獅・ゴリ
ラ等の猛獸、象・河馬・麒麟・斑馬及び駝鳥等の如き雄大なる
ものあり。又鰐魚・ツツ蠅の如き有害なるもの頗る多し。



第三九圖
アフリカ
の種族分
布



人文 住民未開の大陸にて、地中海岸・ニール流域にはセム・ハムの兩族住し。回教及び耶蘇教の一派を奉す。スタン地方以南には本州の土人たる子グロ・パンツ住す。ネグロの一派なる小ネグロは世界最小の人類なり。その他ヨーロッパ系統の諸種族各地に散在し、最南部には、オランダ人・イギリス人多し。

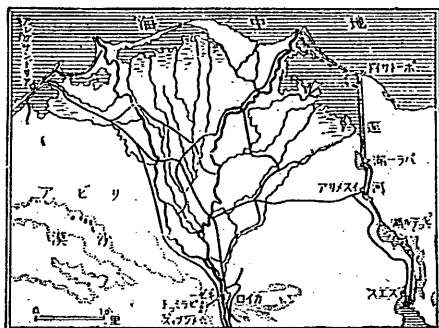
地方誌

地中海岸諸邦

東にエジプト、西にマロッコあり。トリポリ・チュニス・アルジェリアその中間に位す。チュニス以西をバルバリ地方と稱す。
MOROCCO TUNIS ALGERIA

地勢・氣候 略、東西兩部に分る。チュニス以東は多く沙漠にて、所々に沃地あり、熱風吹き氣候乾燥す。チュニス及び以西の地はアルプ山系に屬せるアトラス山脈横はり、氣候溫和なる所あり。
ATLAS

エジプト EGYPT



ニールの下流地方にて、西部をリビア沙漠とす。下エジプトはニール河の三角洲其の大部を占め、上流地方の雨季には河水氾濫して沃土を堆積し、施肥降雨なくして年三回の收穫あり、穀物綿花砂糖を産し、綿花の輸出盛なり。主としてイギリスと取引す。スエズ運河は三十餘年前の開鑿にて、紅海・地中

海を連絡し、世界重要な交通線路たり。スエズ・ポートサイドの兩港、その兩端を扼す。鐵道は遠く河岸を溯つて、ハルツームに達す。アフリカ縱貫線の一部たり。

首府カイロは本洲第一の大都にて、附近にはピラミッド・スフィンクス等古代エジプトの遺物多し。アレクサンドリア港は本洲第一の貿易港にて、古來有名なり。

トリポリと共にトルコ領なれども、軍備財政とも英國の手の中にあり。

バルバリ諸邦 BARBARY STATES

アルジェリア・チニス 佛領にて、葡萄・橄欖・ヨルクの産あり。隊商は南部諸地方に往復し、象牙・駝鳥毛等の取引盛なり。アルジェリアはアルジェリアの首府、チニスはチニスの首府たり。共

に本國との貿易盛なり。

マロッコ ORAN ジブラルタル海峡の南岸地方にて、樞要なる位置を占む。政教一致の王國なれども、フランスの干涉を受く。皮革・羊毛の産あり。フェズ・マロッコ兩市を首府とす。タンジェル港は海峡に臨み、この國第一の貿易港たり。

中部アフリカ

全部殆ど熱帶中に位し、本大陸の大部分を占む。北は地中海岸諸國より、南は英領南アフリカに至るまでの地域をいふ。この地方はリビングストーン・スタンリー兩氏の探險により、世に知られし地方多し。

サハラ・スタン地方 概ね佛領たり。(一)サハラ沙漠は山骨所々に露出し、まゝ海面以下の低地あり、無水の河床を有す。又所々に泉あり、その附近の地は肥沃にて植物繁茂し、隊商の樂土たり。恐るべき旋風は屢、隊商を埋む。

無水の河床
は降雨の
一時期に
しか降る
水あり
二ヶ月間
あり

(二) スダン (1) 北部は曠原帯をなせども、(2) 南西部はニジェール・セネガル兩大河の流域に屬す。耕作に適し、森林に富み物産多し。(3) 北東部ニール河の上流地方はエジプトスダンと稱し、バルツームその首府たり。英國の勢力範圍に屬す。

(2) ギニア灣の沿岸は上ギニア地方と稱し、英(カメルーン、シイラレオネ、黄、佛(象牙海岸、ダホメ)等の諸國に屬す。リベリア共和國亦この中にあり。隊商は常にスダン地方と地中海岸間を往復す。その發着點はチンブクツークカ、ハルツーム等にて内地商業の中心たり。今尙は奴隸賣買行はる。英領ラゴス、フリータウン、佛領ダカル等は沿岸の良港にて、商業交通の中心たり。

東海岸地方 本洲中土地最も高く、ケニア、キリマス、ジャロの如き四時戴雪の高峰あり。その西に世界第三の大湖たるビクトリアヌヤンザ湖あり。その他タンガンイカヌヤサ兩湖を初め幾多の湖水連續し、水利の便多し。南部の大河をザンベジ河とす。瀑布多く水運の便を缺く。此地方は英(英領ソマリランド、モロシニアス)、佛(マダガスカル)、獨(佛領東アフリカ)

(2) エントリア、伊(葡領東ア)の五國領とアビシニア王國とに分る。(1) 北部のアビシニア王國は同名の高原にあり、金象牙を産す。その東海岸の北部は伊領にして、南部は佛領たり。チンブククの兩港あり、アデンと相對す。ソマリランドの北部は英領にて、南部は伊領たり。(3) その他英領東アフリカに、モンバサ、ザンジバルの兩港あり、葡領のロレンソマルケス港と共に貿易交通の中心點たり。

マダガスカル島は廣さ我が本州に三倍し、タナナリボその首府たり。海岸出入乏しからず。その東海中のモロシニアスは英領にて、南印度洋中最も大切なる小島たり。

西海岸地方 下ギニア地方及びコンゴ流域をいふ。(1) コンゴ河は水量豊かにて、中流には汽船の便あり。本洲中最も水利に富む流域の大部はコンゴ獨立國にて、下流のボマを首府とす。河北の地は概ね佛領コンゴにして、河南は葡領アンゴラとす。アンゴラの南は獨領西南アフリカ、又佛領コンゴ



の北は獨領カメルンなり。

英領南アフリカ



中央アフリカ以南の地にて、ケープ殖民地・ナタル・オレンジ
リバー殖民地・トランスバール・バーストランド・ベチアナラン
ド・ドロデシア等の諸地方をいふ。エジプト
に次ぎ本洲中最も重要な地方とす。
地勢 高原性にて内地にはカラハリ
沙漠あり海岸は一般に平地少なし。オレ
ンジ河は西流し、リンボボザンベジの兩
河は東流す。
産業都會 ケープ殖民地は農業國にて、オレンジ流域は
牧畜を主とす。トランスバールは鑛業國、ナタルは農業國な

り。⁽⁴⁾ 南部は著名の葡萄産地にて、果實栽培・葡萄酒醸造は政
府の意を用ふる所たり。⁽⁵⁾ その他羊・駝鳥を飼養し、その羽毛
亦盛に輸出せらる。⁽⁶⁾ 金剛石・金は一大富源にて、産額共に世
界第一なり。金はヨハネズブルグ・バーベルトンを中心とし、
金剛石はキンバリーを主産地とす。

ケープタウンは南部鐵道の起點にて貿易盛なり。總督駐在す。
リザ・ス・ガルバン等は海岸の良港たり。殊にガルバンはリンボボ・オレ
ジ
兩河域の通商門口たり。その他内地にはブルムフンタイン・プレトリア
等の都會あり。前者はオレンジリバー、後者はトランスバールの首府たり。
これ等の地方は蘭人の經營にかかり、その子孫(ボア)人多し。以上の諸都會
は何れも鐵道にて連絡し、縦貫線はケープタウンよりサルスベリに達す。

本大陸と我が國

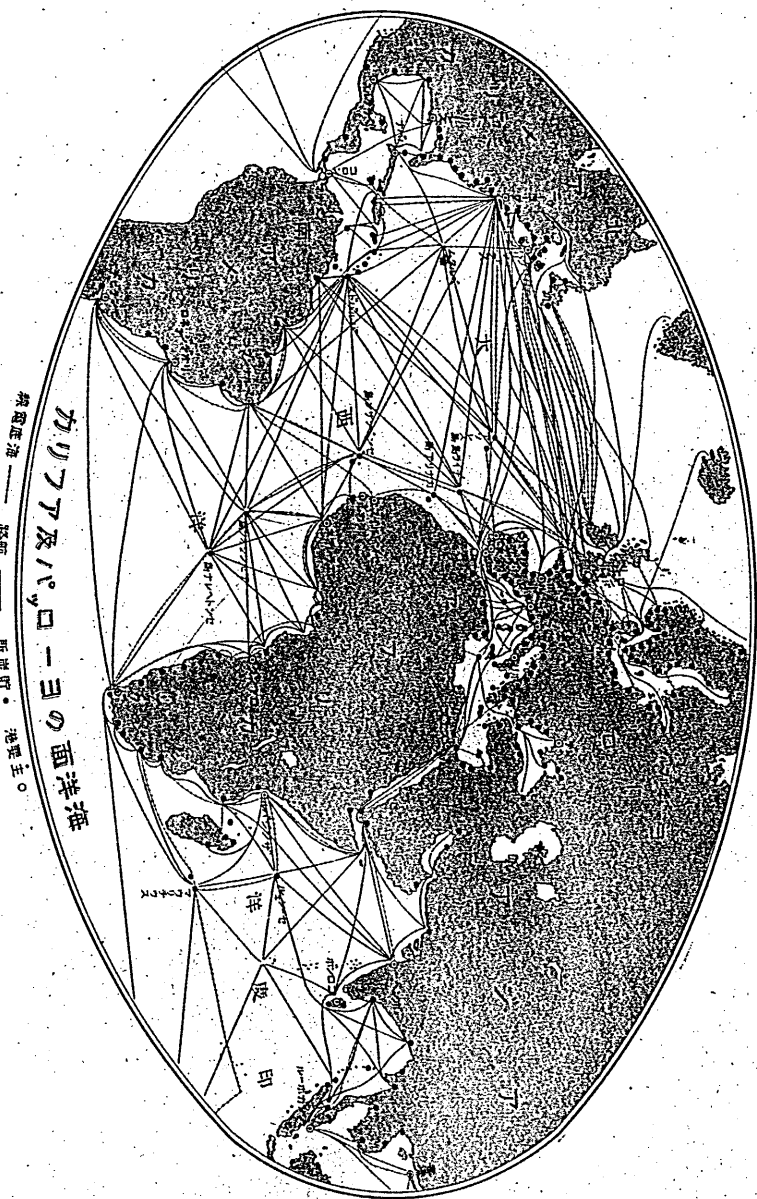
各大陸中關係最も薄し。エジプトとの貿易は稍注目すべき
ものにて、綿花を輸出す。スエズ地峽通過船亦次第に増加す。

ヨーロッパは唯一の我が條約國なり。南部アフリカには支那人多きも、邦人は少し。

海洋面のヨーロッパ・アフリカ

ヨーロッパは半島形を成し三面海にして、アフリカは四面殆ど海なれども、面積に比較したる海岸線の長さはヨーロッパは各大洲中第一位、アフリカは第六位を占む。兩大洲中の最も大切な海面は大西洋にして、就中その一大内海たる地中海は兩大洲の間に挟まり、古來最も有名なる海面たり。ヨーロッパに於ける北極洋面、アフリカに於ける印度洋面は共に大西洋の如く大切ならず。

大西洋面 一、列國との關係 大西洋は歐米兩大洲の間にあるを以て、現今世界の海洋中最も樞要の地位を占む。こ



の洋面は始めイスパニア・ポルトガル兩國人の活動舞臺たりしが、オランダ人之に代り、次でイギリス人起り、現今イギリスはこの洋面第一の富強國たり。之に次ぐものをドイツ・フランスの兩國とす。英・佛・獨の三國は實に主としてこの海洋面を支配す。(一)イギリス、この洋面唯一の海國にして、本國諸港の外、アフリカにてはシモンズ灣・ケープタウン・ラゴス・フリータウン等の諸港を活動の根據地とす。アセンション・セントヘレナの孤島も亦南大西洋の重鎮たり。(二)ドイツ、バルト海・北海に臨み、本國諸港を主要の活動根據地とす。(三)フランス、地中海と大西洋とに面し、樞要の位置を占め、アフリカにもセントルイス・ダカル等の諸根據地あり。(四)その他、ポルトガルは北部にアゾレス・マデイラ・ケープベルデの諸群島、南部にロアンダを有し、^{MADEIRA}イスパニア

はカナリア群島及び二三のアフリカ沿岸地を領し、共に昔時の名残を止む。

二、貿易にヨロブは地積小なるに拘はらず、鑛産頗る豊富、就中石炭、鐵の産額他大洲に冠たるを以て、イギリス・ドイツ・ベルギー・フランス等をして世界屈指の大工業國たらしめ、機業製鐵機械製造等盛に行はる。北大西洋は「鱈」と「鯨」の國と稱せられ、水産最も豊富にして、ノルウェーをして有名の漁業國たらしむ。

以上の貨物は世界の各地に輸出せられ、之に對して、アメリカ、アジア、オセアニアの諸國より盛に食料品及び原料品を輸入す。食料品は穀類等を主とし、原料品は綿花、羊毛、生糸等を主とす。アメリカは南部の金、亜剛石、北部の綿花等最も著名の物産なり。以上の貨物を取引する大市場はロンドン

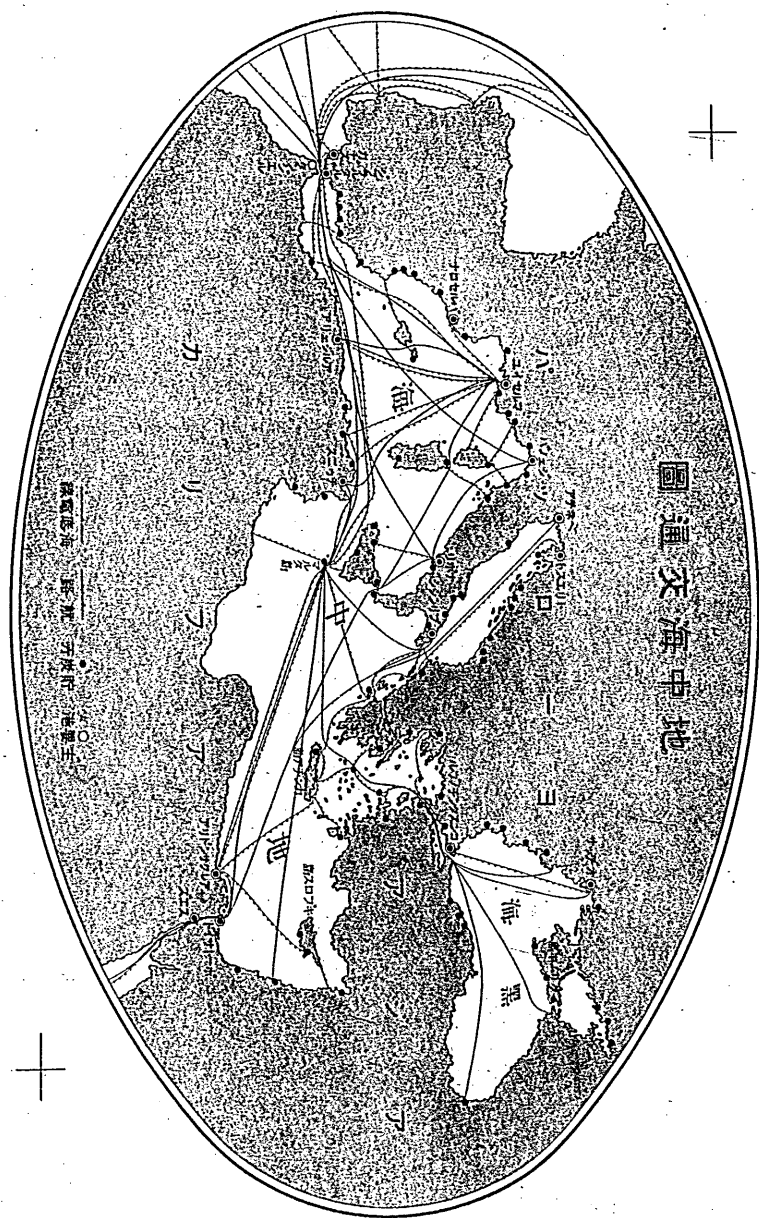
ンリバブル・ハンブルグ・アンベルス等にて、これ等の諸港は實に大西洋貿易の中心たり。

三、交通　諸航路の中心點はこれ等貿易の中心市場を主とす。これ等の諸港は又歐米兩大洲定期航路の起點たるもの多し。イギリスのサザンブトンより合衆國までは六日、ケープタウンまでは十七日間を要す。^(二)その他沿岸の重要諸港は勿論、アゾレス・マデーラ・カナリア・セントビンセント・セントヘレナ・アセンション等の諸島、セントルイス・ダカル・シーラレオネ・ロアンダ等何れも貯炭所の設あり。^(三)海底電信は北大西洋に多く、何れも新舊兩大陸の連絡線たり。英國の沈設せるもの最も多く、ドイツ・フランス之に次ぐ。

地中海面 アジア・ヨーロッパ・アフリカの三大陸の中間にあり。昔時はフニキア・ギリシア・ローマの諸國人、この海面に

大のべ船際港めルンブブドめ著内湖大
なこ傾くをしは幾ス、レブリンにし海の西
りとを、入大満多等アホル、く、河干洋
寶助交れ船湖のをンル¹ケ、リロ、口満岸
にく通得巨に海初ベドメ、ハバンたにはの

活動せしが、現今は主として南部半島諸國及びフランス・イギリスの活動舞臺たり。⁽¹⁾イギリス、地中海の心臓と稱せらるるマルタ島はシチリア島の南にあり、そのパレタを英國地中海艦隊の根據地とす。地積小なれども最も形勝の地點たり。ジブラルタルは同名海峽の北岸にありて、地中海の咽喉を扼し、要塞堅固にて軍港を置く。エジプトはスエズ運河を通じて東洋に通ずる地中海の關門たり。⁽²⁾フランス、西地中海の實權を握り、コルシカを領す。ツローンはこの海面の軍港たり。⁽³⁾その他イタリアは地中海の中央にあり、コルシカ・シチリア兩島を領し、トルコは領土三大洲に亘り、イスパニアと共にこの海面上最も好地位にあり。沿岸地方は穀物果實生糸綿花を産し、海中には鮪珊瑚の産あり、製鹽亦盛なり。又東洋諸國の貨物輻輳し、マルセイユ・ゼ



大西岸の
如く潮の
なほる大
な河を以
てなすも
其の浅し

ノバ・アレキサンドリアの諸港その中心たり。毎年スエズ運河を通過するもの殆ど四千隻、二千萬噸に達す。その内過半は英國船にて、獨佛の船舶之に次ぐ。海底電信は過半英國の沈設にかかり、西地中海の縦貫線はフランスの架設せる所とす。アレキサンドリア・マルタ・ジブラルタルは英國線の中樞たり。

新日本中等地理 外國の部中卷終

K220.27-222

明治四十年十二月十日印刷
明治四十年十二月十五日發行
明治四十一年六月廿日訂正再版印刷
明治四十一年十月三日訂正再版發行

著作權
所有
不許原圖複製

編者

東京市牛込區市ヶ谷河田町十一番地
地理教授研究會
代表者 淺川 信方

印刷者兼

東京市京橋區南傳馬町一丁目十二番地
合資會社 吉川 弘文館

印刷所

東京市本所區番場町四番地
內外印刷株式會社

發行所 東京市京橋區南傳馬町一丁目

合資會社 吉川 弘文館

新日本地理外國之都上、中、下

定價各冊金五拾五錢

231
454

